

「人工股関節全置換術後における脚延長が筋力回復に与える影響」について

加古川中央市民病院リハビリ室では、人工股関節全置換術を施術された患者さんを対象に下記の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

当院では変形性股関節症に対して人工股関節全置換術（以下 THA）を施行しております。変形性股関節症は股関節の変性に伴い脚短縮が生じており、THA 後に脚長補正が行われます。本邦において THA 術後の脚延長量が下肢筋力の回復と関係しているのか追跡調査した研究は少なく、その回復実態が明確になっていません。今回、THA 術後の下肢筋力の回復経過と脚延長量との関係性を把握することで、術後の理学療法プログラム立案の参考になると考えます。

【研究期間】

研究実施期間：病院長承認日～2023年10月 28日

研究対象期間：2019年1月1日～2021年10月31日

【扱うデータおよび試料・情報の項目】

2019年1月1日～2021年10月31日の期間に人工股関節全置換術を施術した患者さんの下記の情報を診療録より情報収集させていただきます。

- ・年齢、性別、身長、体重、脚延長量
- ・股関節外転筋力、膝関節伸展筋力

【個人情報保護の方法】

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、研究対象者識別番号リストを作成して加古川中央市民病院の6階リハビリテーション室の鍵のかかる保管庫で管理します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【データの提供による利益・不利益】

利益：通常診療のデータを用いており、ご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータの取り扱いについて】

本研究において取得したデータ等は、研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、秘密保持下で保管します。

患者さん及びその家族等から研究参加拒否または同意撤回があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で公表することがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。データ使用の取りやめの連絡を受けた時点ですでに研究成果が学会や論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。

【研究期間の研究に係る利益相反及び個人の利益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況】

研究責任者及び分担研究者に開示すべき利益相反はありません。

【情報の提供を行う機関の名称及び管理責任者の氏名】

加古川中央市民病院 院長 大西 祥男

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション室
研究責任者名：小西 佑磨

連絡先：079-451-5500